

聖隸クリストファー大学 社会福祉学会シンポジウム 2026

主催:聖隸クリストファー大学社会福祉学会/大学院社会福祉学研究科

「制度のはざま」を埋める、 地域と学校の新たな連携を考える ～高校生年代の支援を途切れさせないために～

義務教育を終えた途端、それまで積み上げてきた支援のバトンが途切れてしまう・・・現在、高校生年代の心理・社会的支援は「15歳の壁」に直面しています。小中学校までは市区町村の教育委員会が管轄し、地域での相談体制が整っていますが、高校進学を機に、管轄は都道府県へと移り、さらに私立高校や広域通信制高校など、学びの形態が多様化することで、自治体が築いてきた支援スキームとの連続性が分断されてしまう事態が顕在化しています。

「誰が支援を必要とする若者を支えるのか」「若者年代の支援の課題は何か」、本シンポジウムでは、現場の最前線で活動する専門職とともに、制度の隙間に取り残される高校生年代への支援のあり方を問い合わせます。

日時／2026年3月14日（土）13:00～16:00〔開場/Zoom招待 12:30～〕

会場／聖隸クリストファー大学5号館 5402教室

対象／社会福祉実践現場の職員・教育関係者・大学院生・大学生・高校生、地域活動の
担い手の方・その他関心のある方どなたでも

・課題提起／義務教育における支援と若者年代の支援の連続性を図るには？

平川 悅子 氏（浜松市スクールソーシャルワーカー・スーパーバイザー 社会福祉士）

・シンポジスト／・高校現場から見える、支援の受け皿と地域連携の現状

長坂 聖子 氏（高校スクールソーシャルワーカー 社会福祉士・精神保健福祉士）

・地域支援マネジャーの活動から考える、困難を抱える生徒たちの現実とニーズ

白柳 絵里 氏（浜松市発達相談支援センタールピロ 社会福祉士・精神保健福祉士）

・学校外の立場から支える、居場所と移行期支援の役割

佐藤 佑真 氏（浜松市こども若者総合相談センターわかばプラス 社会福祉士・公認心理師）

・コーディネーター／大場 義貴 氏（聖隸クリストファー大学社会福祉学部 教授）

お問い合わせ／聖隸クリストファー大学社会福祉学会事務局

電話:053-439-1400(社会福祉学部 川向宛)

お申し込み／下記メールアドレス、FAX、ホームページ(QRコード)にて

お申し込み下さい

Mail:shafukugakkai@seirei.ac.jp

FAX:053-439-1406(社会福祉学会事務局宛)



※お申し込みの際には連絡先メールアドレスの記載をお忘れなくお願いいたします。

※前々日までに、上記メールアドレス宛にZoom IDとパスワードをお送りいたします。

FAX 送信先 053-439-1406

FAX 申込用紙

聖隸クリストファー大学

社会福祉学会シンポジウム2026

申込講座名	2026年3月14日（土） 13:00～16:00 「制度のはざま」を埋める、地域と学校の新たな連携を考える ～高校生年代の支援を途切れさせないために～
氏名	
ふりがな	
電話番号	
Eメールアドレス	※恐れ入りますが招待メールの不通が多いため、携帯メールのドメイン (@docomo、@i.softbank、@ezweb、@cloud) は使用しないでください。
勤務先 (学生の場合は学校名)	
ご職種 (学生の場合は学年)	

ご予定の参加方法

会場に参加

Zoomで参加

どちらかを○で囲んでください。

聖隸クリストファー大学・大学院では 専門職者の方の学び直し（リカレント 教育）に取り組んでいます。 今後取り扱ってほしいテーマがござ いましたらご記入ください。	
本学卒業生の方はチェックをお願いし ます。	<input type="checkbox"/>

*ご記入いただきました個人情報は、本会の運営と次回以降のご案内に使わせていただきます。

[問い合わせ先]

聖隸クリストファー大学社会福祉学会事務局

電話：053-439-1400（大学代表／社会福祉学部 川向）

Mail：shafukugakkai@seirei.ac.jp